

第349回 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

日時：平成26年7月28日(月) 18:00

場所：大阪大学医学部講義棟B講堂

「栄養とトランスポーター：アミノ酸の場合」

大阪大学大学院医学系研究科生体システム薬理学 永森收志先生

ヒトのタンパク質構成アミノ酸21種類のうち、9種類が必須アミノ酸であるため、ヒトは必ず食物からそれらの必須アミノ酸を取得しなければならない。非必須アミノ酸は体内で合成できるものの、食物からのバランスの良い摂取が重要であることも最近明らかになってきた。これらのアミノ酸がタンパク質の部品として働くために、アミノ酸を消化管から体内に吸収し、様々な臓器に分配する仕組みが存在する。アミノ酸トランスポーターは、そのアミノ酸の輸送を担う膜タンパク質である。多様なアミノ酸に対応するため、60種類近いアミノ酸トランスポーターが知られており、それぞれ発現臓器や時期が異なっている。アミノ酸トランスポーターの基礎的な研究から、生体における役割、疾患との関わりについて紹介したい。

世話人：内分泌・代謝内科学、代謝血管学寄附講座 船橋 徹
E-mail：funahashi@endmet.med.osaka-u.ac.jp

次回、第350回 CNC は、土岐 祐一郎先生のお世話で平成26年9月8日(月)に開催予定です。